令和3年度 豊田市環境審議会第1回専門部会（循環型社会） 会議録

【日時】 令和3年6月25日（金） 午後10時30分～午後0時10分

【場所】 豊田市役所 元城庁舎西館 3階大会議室

【出席者（部会長以下、五十音順）】

部会長 谷口 功 （椋山女学園大学人間関係学部 教授）
梅村 良 （とよたエコライフ倶楽部）
加藤 智和 （市民公募）
加藤 勝 （豊田市区長会）
寺田 安孝 （あいち豊田農業協同組合）
永江 榮司 （市民公募）
前田 洋枝 （南山大学総合政策学部 准教授）

（事務局）ごみ減量推進課 中野課長、青木副課長 ほか
環境政策課 塩谷課長
廃棄物対策課 近藤課長
清掃業務課 長嶋課長
清掃施設課 浦野課長

【欠席者】 なし

【傍聴人】 なし

【次第】

- 1 ごみ減量推進課長挨拶
- 2 部会長挨拶
- 3 委員挨拶
- 4 議題
(1) 環境基本計画の循環型社会における前年度取組について（協議）
(2) 環境基本計画の循環型社会の中間見直しについて（協議）
- 5 その他

1 ごみ減量推進課長挨拶

2 部会長挨拶

3 委員挨拶

4 議題

(1) 環境基本計画の循環型社会における前年度取組について（協議）

(2) 環境基本計画の循環型社会の中間見直しについて（協議）

部会長	(1) 環境基本計画の循環型社会における前年度の取組について
事務局	(豊田市環境基本計画進捗管理シート等配布資料説明) 各施策の進捗状況は、「廃棄物の発生抑制の促進」の2施策を「遅れ」とし、他の施策については「順調」と評価した。
部会長	【施策の柱 3.1 廃棄物の発生抑制の促進】 施策の柱 3.1 のみ進捗状況が「遅れ」になっているので、「廃棄物の発生抑制の促進」について、各委員から意見をいただき、施策の柱 3.2 から 3.5 までについてはまとめて意見を願います。
部会長	家庭系廃棄物は増加しており、事業系廃棄物は減ってはいるが目標に達していないので「遅れ」としているということであった。皆さんの生活実感の中ではどうか。
部会長	遅れをどのように評価していくか。数字の解釈を含めどうすればよいか。テイクアウトで持ち帰り食べきれなかった食品は家庭ごみとなる。今までは、飲食店で食べれば事業系の一般廃棄物であったが、家庭から出れば家庭系一般廃棄物になる。私自身の生活実態としては、住んでいるマンションの集積場のごみの量が増えた印象がある。
委員	自治区でのごみの量は、具体的に増えた感じはない。家庭系一般廃棄物は新型コロナウイルス感染症の影響で増えたと思われる。事業系一般廃棄物は営業自粛等の影響があり若干減っていると思う。
部会長	事業所から出るごみの量について農協に集まっている情報はあるか。
委員	具体的にごみという観点での声は聞こえてこない。課題として、一つの事業体として組織の中にもう少し落とし込んで突き詰めていかないといけないと思っている。
部会長	事業系のごみは、食品の生ごみだけでなく、紙などのリサイクルできない紙も事業系一般廃棄物になる。
部会長	毎日出る手袋やマスクは、ごみの処分の中でどのように位置づけられているのか。
事務局	おそらく勤務先で捨てられるのではなく、家庭に持ち帰り家庭ごみとして捨てられるのではないかと思う。新型コロナウイルス感染症の関係で増加しているマスクなどは家庭に持ち帰ることが想定される。ごみの組成調査をしたところ、マスクやティッシュペーパーが例年と比較して増えていた。
委員	マスク等は量的にはかさばるが、重量としてはそんなに重くないので重くなった理由が少し気になる。新型コロナウイルス感染症の関係で、インターネット通販やテイクアウトが増えて個包装が増えていていると思う。また、食品ロスに伴う内訳も気になる。

事務局	昨年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、食品ロスに関する組成調査もできなかった。
事務局	テイクアウトするとプラスチック製容器包装の量が増えると想像されるが、プラスチック製容器包装は横ばいで変化がなかった。世間で言われる実態と感覚が違っている。燃やすごみの量自体は、7月以降減少しているような状態になっている。
部会長	豊田市内の消費者動向はどうなっているのか？通信販売での購入は増えていると思うが、購入と捨てることはセットのように思われる。
事務局	市内のスーパーと話をする中では、購買量は増えていると聞いている。
部会長	ごみの排出量と消費者動向をクロスさせながら根拠を示せば、対策を打つことができると思う。ごみの問題は、買うことと捨てることがセットであるので、消費動向との関係が見えてくると良い。
部会長	通販等で出るダンボールはどうなっているか。
事務局	リサイクルステーションに出されたダンボールは、古紙組合が回収してリサイクルに回している。
部会長	ダンボールの量は増えているのか。
事務局	ダンボールは増えているが、ペーパーレス化に伴い、古紙自体が減っており、ダンボールの増加分が吸収されている状況になっている。
部会長	日進市では、リサイクルセンターにダンボールを持って行き、以前は潰さなくてもよかったが、今は潰して出すように廃棄の方法が変更となったことによってもダンボールが増えていることが分かる。大学では講義がオンラインになりペーパーレスが進み、紙の印刷は減っている。
委員	課題解決に向けては、職場でも実施しているが、原因をばらして突き詰めていくことが重要になる。ごみの組成調査を手作業で行っているということであるが他の自治体でも手作業で行っているのか？先端技術を利用してレーザーなどで分析ができれば、組成調査が行いやすくなるのではないか。
事務局	ごみを処理する際に均一化するためごみ袋のまま破碎処理をするので、機械的な調査はできない。このため、組成調査は手作業で行っている。
部会長	こういった先端技術があればごみを減らせるかもしれないといった提案はできるかもしれない。
委員	事業系一般廃棄物は、仕事がリモートとなっているので、ごみの量が減っているのは当然だと思う。新型コロナウイルス感染症が収束し、生活様式が元に戻ったときにごみが増えない方法を考えておけるとよい。仕事の関係で県外に行くことがあるが、豊田市のダンボール・びん・缶等の分別は他市に比べてしっかり分別されていると感じている。
委員	プラスチックごみが気になる。プラスチック製容器包装は増えていないようだが、消費量は増えているので、テイクアウトで利用されたものはリサイクルするために洗わないといけない。燃やすごみに含めてしまっていることが考えられる。巣ごもりで衣類のごみが増えていけば、リユース・リサイクルを促していけるとよいのでは。

部会長	分別のモラル低下、ごみが多すぎて分別が雑になっているように感じる。パソコンなどは廃棄されるまでのトレーサビリティが分かっているの、同様に廃棄までの状況が記録されるようになるとうい。
部会長	その他の施策の柱 3.2 から 3.5 までの説明をお願いします。
事務局	【施策の柱 3.2 廃棄物の再使用・再利用の促進】 【施策の柱 3.3 廃棄物エネルギーの活用】 【施策の柱 3.4 廃棄物の適正処理の推進】 【施策の柱 3.5 安心できるごみ処理体制の確保】 について、施策管理シートに基づき説明
部会長	全施策が順調ということだが、気づいた点があればお願いします。
委員	費用負担の在り方をもう少し詳しく教えてほしい。
事務局	ごみを処理するのに費用がかかる。燃やすごみ 10kg あたり約 250 円の費用がかかるが、事業系のごみ処理手数料は 100 円だけ徴収しており、乖離が生じている。尾張方面では 200 円徴収しているが、西三河の多くの自治体が 100 円となっており、適正な処理費用はどのような形がよいか検討している。
委員	事業者の負担が多くなると不法投棄が増える心配がある。
部会長	尾張方面に合わせるとほぼ倍近くになると、事業者も厳しくなるので、不法投棄も懸念される。その辺の検討も必要になってくる。
部会長	不法投棄の困りごとで、区長会で共有されているものはあるか。
委員	今年度になって区長会の議題に上がっていることはない。不法投棄は微妙に増えているように感じている。私自身は四郷駅周辺の地域で自治区長をしており、燃やすごみの日に埋めるごみが捨てられたり、別の地域の人が通り抜ける際にごみを捨てたりすることが増えているように感じる。
部会長	家の片づけをする時間が増え、布団、机など家庭系の大型ごみが増えている感覚がある。大量の産業廃棄物ではないが、家庭系の不法投棄にもアンテナを張っていった方がいいのではないかな。
部会長	今後、ワクチン等に係る産業廃棄物も出てくるが、その対応は大丈夫か。
事務局	感染性廃棄物については、保健所が中心になり処理をしている。豊田市のルールとしては、委託をする場合は、廃棄物対策課が確認をすることになっている。国が示すマニュアルに沿って処理していることを確認している。
部会長	野焼きの状況はどうか。
事務局	生活様式の変化に伴い、会社勤務であった人が、昼間、家にいることで件数が増えている。
部会長	気になるという声が増えていることを背景に啓発していけるとよい。
事務局	ホームページや広報等で周知を図っている。
部会長	不法投棄パトロール隊の活動範囲は。
事務局	昨年度末で 201 団体の登録がある。母体は、自治区や企業を母体とした団体が多い。活動場所は、住まいの地域や河川などそれぞれの団体の目的によって様々となっている。市は、団体が回収した不法投棄を無償で回収をしている。
部会長	活動の支援はやられているか。
事務局	活動はボランティアとなっており、市は活動用の物品を支給したり、地域をきれいにするというところで花の苗等を提供して支援し

	たりしている。
部会長	子供たちが不法投棄を回収することは難しいが、通学の時にごみがあった場合は通報するような仕組みがあると、情報の共有ができていいかもしれない。学生が観察しながら歩き、まちに関心を持ち、意見交換できる取組も意義があるである。
委員	道路の補修を見つけた時に、写真を撮りアプリに登録すると市役所の関係部局に届くというシステムがあると聞いたことがある。それと同じように、ごみを見つけたときも同じように対応できるシステムがあればいいと思う。
部会長	子供のころびんを拾って駄菓子屋に持っていくと換金できた。エコライフのポイントもそのようにつながっていくと面白い。
部会長	この1年間いろいろなものを買って取ってくれる店が増えてきている。行政の活動でなく、民間が行っているリサイクルやリユースの動きを分析していくと、ごみとの相関関係が出てくるのではないかと思う。
部会長	エネルギーの活用については、太陽光パネルが増えてきている。ごみを燃やした時のエネルギーだけではなく、エネルギー政策の中でどのように位置づけられるかも検討することもあっていいかも。
部会長	時間も限られているので、今日発言できなかった意見があったら事務局への報告をお願いします。
部会長	(2) 環境基本計画の循環型社会の中間見直しについて
事務局	・ 豊田市環境基本計画の中間見直しの考え方 ・ 循環型社会分野における中間見直しの概要 について説明
部会長	今日は、方向性を検討して今後の部会で具体的な変更案を示されるということによいか。
事務局	中間見直しの考え方と課題に対しての取組についての大きな枠組みを示したもの。各個別の事業については、次回の部会で示す。
部会長	今後は社会情勢によって数値が変わる指標、社会情勢が変化しても変わらない指標を分けておけるとよいのではないか。

5 その他

- ・ 第2回循環型社会部会の日程調整について（事務局より報告）